

県医労新聞

2014年11月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1892号(月刊107号)

10・23 国民集会 いのちまもる・憲法いかす

【いのちまもる・憲法いかす10・23国民集会】実行委員会 日比谷野外音楽堂



いのち・まもる憲法いかす10.23国民集会(日比谷野外音楽堂)

目次

- 1 P 県医労第152回中央委員会
2014年県人事委員会勧告
- 2 P 第42回中央社会保障学校
岩手フィールド・被災地コース
- 3 P 岩手医労連2014県内キャラバン署名
10.23国民集会
- 4 P 看護部ニュース
- 5 P 女性部・青年部ニュース
- 6 P つぶやき、とんがらし
9月号パズル当選者
- 7 P お知らせ
 - ◇「戦争する国」はNO! 11.22岩手県民集会
 - ◇いわさきちひろカレンダー
懸賞パズル 11・12月の予定



県医労から8支部24名が参加

県医労第152回中央委員会 秋・年末闘争で労働条件の 改善を勝ち取るう!



方針提起する〇〇書記長

内容の問題点を
具体的なデータ
を示しながら、
わかりやすく説
明しました。
また、12月2
日に県医労独自
の秋・年末闘争
決起集会を開催
することを決定
しました。集会
に参加し、要求
実現に向けて当
局へ怒りをぶつ
けましょう。

県医労第152回中央委
員会は、10月18日、盛岡
市「岩手県自治会館」で開
催され、秋・年末闘争勝利
に向けた活動方針、予算更
正などが提起され、各議案
は満場一致で採択されまし
た。
討論では、「病棟の受け
入れ診療科が増え、業務が
煩雑化し増加している」「慢
性的な人員不足のため、す

ぐに9回夜勤が発生してし
まう」「上司のパワハラが多
い」「超過勤務の事前指示
をするところか、請求もさ
せてもらえない」「参加す
るよう指示された研修に、
旅費も出してもらえない」
など、職場での過酷な実態
が次々と報告されました。
学習会は、岩手自治労連
の佐藤前委員長が人事委員
会勧告について講演。勧告

2014年県人事委員会勧告

県人事委員会勧告が10月9日に出され、7年ぶりの
基本給・一時金の同時引き上げとなっています。

勧告の主な内容は、

- ①月例給を平均904円引き上げ。なお、初任給（若
年層）部分は二千円前後引き上げ。
 - ②勤勉手当を0.05月分引き上げ（年間3.90月→
3.95月）
 - ③寒冷地手当の給付地域見直し。ただし、市町村合
併により対象外になった地域は、独自に調査し検討
する。
 - ④現行の給与構造改革による現給保障を2015年3
月末に廃止し、昇級回復を2015年4月に行つ。
⑤通勤手当は、ガソリン価格の動向等を考慮し交通用
具者部分を見直す。
 - ⑥国で勧告された「給与制度の総合的見直し」は、給
与構造改革の経過措置を廃止し、昇級回復を行い、
他県の実況を考慮して検討。
となっています。
- 今回の勧告は一見、引き上げのように見えますが、
生涯賃金で見ると賃下げとなる不十分な内容です。若
年層は、現在の高齢層の賃金水準には到達せず、現在
の高齢層はほとんどが引き下げになっています。わた
したちの将来に希望が持てる内容にするため、組合に
結集して声をあげていきましょう。

社会保障の根底を覆す安倍政権

第42回中央社会保障学校in花巻

9月25日～27日の3日間、第42回中央社会保障学校が「ホテル花巻」で開催され、学習講演のほか被災地視察・沢内村見学など、岩手ならではの企画も取り組まれました。学校には全

国から238人、県医労から4支部・本部10名が参加しました。

1日目の学習講演は2つ。日野秀逸東北大学名誉教授の「ヤスクニイズム・アベノミクスと憲法・社会保障」と長友薫輝

の入門講座が行われ、社会保障運動の歴史を学び、労働組合の役割の大きさを再確認しました。

3日目は、被災地のたたかひの報告と学習講演がありました。保育の分野から、社会福祉法人あゆみ会の小

幡正子常務理事が、震災直後からのたたかひの様子や子ども子育て新システム制度の問題点などにふれ、医療について岩手県保険医療協会の伊藤大さんが被災者医療費負担アンケート集計結果を示し、医療費免除継続



後藤道夫 都留文科大学名誉教授

の必要性を訴えました。

後藤道夫都留文科大学名誉教授の「広がり深刻化する貧困と社会保障運動への期待」の講演では、安倍政権が社会保障改革として最低生活保障をどんどん切り崩し弱者を追い詰め、富める者と貧困者との格差をさらに広げ、社会保障の根底を覆っていると指摘しました。制度を学び、今後のたたかひに向けた活力となりました。



熱心に講演を聴く参加者

(まよる) 津市立三重短期大学教授の「国保の歴史と『都道府県単位化』でした。国民の安全・安心は予算の有無によって決定されるべきでなく、人権保障のために存在するものと学びました。

2日目は、4つ

来て見て感じることも大事！ 岩手フィールド・被災地コース

2日目の岩手フィールド・東日本震災被災地コースは、陸前高田市内のホテルを会場に、戸羽市長の歓迎あいさつの後、県立高田病院石木前院長の講演、「奇跡の一本松」見学と、長部仮設住宅への訪問が主なスケジュールでした。遠くは沖縄から、総勢44名が参加。

「被災地は岩手が初めて」という参加者が



青空に映える奇跡の一本松

多く、「実際に見て復興が困難を伴うものだとなった。社会保障闘争に力が入る思い」など、参加して良かったとの声が多数聞かれました。

私たちは「住民本位の復興はまだだ！」と、もっと全国へ発信し、声をあげなければいけないのだと気づかされました。(中野)



花北地区・イトーヨーカドー前



釜石地区・鈴子マイヤ前



盛岡地区・大通り野村證券前



一関地区・一ノ関駅前



奥州地区・コープアテルイ前

世論を高め 医師・看護師の大幅増員を

岩手医労連
2014県内キャラバン署名

10月5日、岩手医労連は医師・看護師・介護職員の夜勤改善・大幅増員や医療費負担の軽減を求める国会請願署名に白衣で取り組みました。この日は、県内5ヶ所（盛岡・花巻北上・奥州・一関・釜石）に分かれ、12時から1時間、市民の皆さんに、病院職場の現状や、医療・介護総合法がどれだけ医療サービスを下下せるのかなどを訴えました。

この日の行動では、県内全体で57名（県医労からは6支部・本部20名）が参加し、778筆の署名が集まりました。

「いのちまもる・憲法いかす10・23国民集会」が、東京・日比谷野外音楽堂で開催され、全国から3200名、岩手から48名、県医労からは8支部・本部24名が参加しました。

主催者を代表して、日本医労連の中野千香子執行委員長があいさつ。呼びかけ人の一人である医師の伊藤真美さんは「人の命より経済や国家を優先するアベ的なもの、ノー・サンキュー。当たり前のことを声にしななければならぬ時代になった」と述べ、看護大学客員教授・川島みどりさんは、「誰もが人間らしく自分らしく生きていく権利が憲法25条で保障され

ているにも関わらず、これを守らない政府の不当性を声にし、多くの人に知らせましょう」と呼びかけました。他に医師の本田宏さんのあいさつのもと、現場を代表して4名の報告がありました。

集会後、「いのち守れ」「社会保障費ふやせ」「震災復興に全力をあげろ」とシュプレヒコールをあげ、国会周辺をデモ行進しました。



「いのちまもる」10・23国民集会
10・23国民集会

思いやりのある職場づくり

看護指導監との懇談

10月20日、合同庁舎8階講堂Aにおいて青山指導監と看護部会メンバー4支部・本部8名が、「働き続けられる職場づくりについて」懇談を行い、次の点について確認しました。

委員会・研修等の参加は勤務日に

組合で取り組んでいる委員会・会議・研修(会)・研究に関するアンケートに寄せられた意見を紹介し、非番日に委員会や研修に参加している職員が多いことについて、指導監は「非番日に出てこなくてよいのでは?委員会等は勤務日にしているはず」と驚いていました。

PNS導入目的は超過勤務縮減ではない

今年度定期大会や中央委員会でも話題となったPNSについて、指導監は、看護方式の一つであり、新人とベテラン看護師のペアによる看護技術の向上や業務の負担軽減が目的であり、業務の時間短縮は「おまけのようなもの」と話しました。看護部会からは、デメリットとして、実施して



青山看護指導監

る部署から「超過勤務がますます書けなくなった」「インシデント発生時、責任を追及される」「ペアで行っているのに何故?」と自己責任にされる雰囲気がある」と報告されていることを伝えました。

ミス・ニアミス経験と仕事へのストレスある全国より10ポイントも高く

2013年看護職員の労働実態調査 県医労版パート5

今回はミス・ニアミスとストレスについての調査結果を報告します。ミス・ニアミスの経験があると回答した人は前回の結果と比べ1ポイント、全国と比べると4.4ポイント高い結果となっています。医療・看護事故が起る原因では、「慢性的な人手不足による医療現場の忙しさ」「交替制勤務による疲労の蓄積」「看護の知識や技術の未熟さ」が上位を占めています。順位・数値について、前回の結果と差はありませんが、全国結果と比べ10ポイント以上高い結果です。

今の仕事への不満、悩み、ストレスについても、「ある」との回答は全国より11.3ポイントも高い結果となっており、仕事量が多く、職場の人間関係が悪いことも見えてきます。

表1 最近3年間のミスやニアミス経験

	2009年	2013年	2013年(全国)
ある	88.6	89.7	85.3
ない	9.8	7.7	11.5

表2 医療・看護事故が起きる大きな原因

	2009年	2013年	2013年(全国)
慢性的な人手不足による医療現場の忙しさ	87.6	89.8	79.7
交代制勤務による疲労の蓄積	38.1	34.5	25.5
看護の知識や技術の未熟さ	22.2	24.9	36.2
医療の知識や治療技術の未熟さ	1.0	2.7	2.2
職場の人間関係	7.4	10.8	6.9
看護職と医師との連携の悪さ	17.6	18.2	17.3
業務の煩わしさ	5.8	8.5	8.4
医療従事者のモラルの低下	2.0	1.7	2.8
その他	5.8	4.3	7.6

表3 今の仕事への不満、悩み、ストレス

	2009年	2013年	2013年(全国)
ある	77.4	78.5	67.2
ない	11.4	10.5	16.7

表4 今の仕事への不満、悩み、ストレスの要因(上位5つのみ表示)

	2009年	2013年	2013年(全国)
仕事の質の問題	30.6	28.5	30.4
仕事の量の問題	43.8	48.4	46.7
仕事への適性の問題	26.9	21.8	19.9
職場の人間関係	32.4	33.1	28.3
事故の不安	13.2	12.0	11.8

時差出勤は労使で協議を

時差出勤が組合と協議さ



参加した看護部会のメンバーたち

れずに行われており、事務部門でも把握されていない現状を伝えました。
北村主査(職員課・給与担当)から、「時差出勤は勤務条件の変更であり、労使で協議をし、すすめるよう指導している。協議をしないで行っている病院は指導することが確認されました。」



2014年度女性部長会議

ブロック集会の日程決まる

10月2日、女性部長会議が開催され、14支部・本部22名が参加しました。

午前は、急遽、人事院勧告で出された「給与制度の総合的見直し」阻止、諸手当改善を求める地公共闘総決起集会・県庁座り込みに参加。午後から開催した女性部長会議では、定期大会後の職場の状況や、今年度のブロック集会の日程・内容等を話し合いました。

職場交流では、夜勤問題、超勤、病院間の応援、PNS、パワハラなど、深刻な職場の状況が出されました。超勤、パワハラについては記録を取るこの大切さを確認しました。

今年度のブロック集会は下記のとおりです。それぞれ

れのブロックで交流を深めましょう。



午後から行われた女性部長会議（岩手県民会館）

岩手医労連女性部第28回定期大会

書記長に〇〇〇〇さん

10月7日、岩手医労連女性部第28回定期大会が「エスポワールいわて」で開催されました。

大会議長を〇〇〇〇〇〇さん（胆沢）、選挙管理委員長を〇〇〇〇〇〇さん（本部）が務めました。

大会では1年間の総括と新年度の運動方針について討論し、各単組から女性部活動や職場の状況が報告されました。次期役員には、県医労から書記長に〇〇〇〇〇〇さん（本部）、委員に〇〇〇〇〇〇さん（中央）が選任されました。

ブロック	担当	日程	会場	内容
北部	久慈	11月9日(日)	久慈駅	お座敷列車 北三陸号
中部	江刺	11月8日(土)	Zホール	陶芸
南部	千厩	12月6日(土)	狹鼻溪	紙すき体験と舟 下り
三陸	宮古	11月29日(土)	休暇村陸中宮古	生花入りのリース 作り



岩手医労連青年部第34回定期大会

仲間との交流を
がんばる力に

10月11日、岩手医労連青年部第34回定期大会が盛岡市「キャラホール（都南文化会館）」で開催され、一年間の運動方針や役員体制などが決定されました。

大会では、盛岡赤十字病院労組の代議員から、青年部を再始動させ、10人の新入職員を迎えて元気に活動している様子や、昨年の全国アクト（広島）と今年のみちのくアクト（山形）に2年続けて参加した医大教職組の代議員から、「アクトで出会った仲間とまた会えるのを楽しみに仕事を頑張っている」等の発言がありました。

県医労からは3支部7名が出席し、大会の選挙委員長を〇〇〇〇〇〇さん（二戸）が務めました。次期役員には、県医労から副部長に〇〇〇〇〇〇さん（磐井）が選出されました。

てびやま

食欲の秋。採れたてのキノコが入った芋の子汁を食べましたが、とても美味しかったです。里芋は皮むきなど手間が多いですが、今シーズン中に自分でも作ってみたいと思います。

南光支部 ばんだ

「私、大きくなったら、お母さんみたいに仕事パンパンやって、ビールガブガブのむぞ〜」と5歳の娘に言われました(笑)

久慈支部 ぼつくん

10月で夏期休暇取得月が終わります。皆さんはどれだけ希望日に希望日数を取れたでしょうか？カレンダー通りに休めない仕事だからこそ配慮して欲しいですね。何も言わなくても定期的に休日がしかも連休でもらえる人達にはこの苦労はわ

かんねえかなあ。

南光支部 生さんま

世の中も家族も連休なのに私だけ毎日仕事。家族と休める休日がほしい。

大船渡支部 匿名希望

食いしんぼうの私のゴハンのお供は「めかぶ+オクラ+納豆+豆腐」をポン酢でグルグルかき回し、かつお節をパツパと振った名付けて『フオーネバー』、一度お試しあれ♡

江刺支部 腹が減っては戦ができぬ

9月号パズル

当選者発表

9月号パズル「まちがいは7つ」には25名の応募があり、24名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

9月号当選者(敬称略)

鼻曲がり土偶、ぼつくん(以上、久慈支部)、ぬぬ(二戸支部)、じゃがいもの花、マグナム(以上、中央支部)、夏太り(江刺支部)、シラネアオイ(南光支部)、夢見るおばちゃん、みたママ、新アルバムが楽しみなアラシク(以上、宮古支部)

朝晩めっきり涼しくなりましたね。ストーブの準備しなくちゃ…。灯油高いんでしようね…。今から5月まで大変です。

中央支部 マグナム



とんがらし

「若い人と話があわない」「今の若者は考え方が全く違う」などと言う声がよく聞かれ、様々な雑誌・新聞でも記事になっている。昔から

あったジェネレーションギャップだが、若者、特に新人が「新人類」「宇宙人」「ゆとり世代」など様々な名称で呼ばれてきた。自分も就職当初は、先輩達から「イマドキのひとは分からない」などと言われていたことを思い出す▼若者・新人は、仕事だけでなく人生経験も少ないためか、上手く意図が伝わらないことが多々ある。独断と偏見かもしれないが、「空気を読む」「言葉の裏を読む」とは、やはり経験がものというと感じる。様々な人生経験を重ねてきた人ほど、ちよつとの説明で話が通じ

るし思いが伝わっているとと思う(希に例外的な人もいるが)▼経験が少ない人にも上手く伝えるには何が必要か。やはり組合運動の基本でもある「対話」することしかないと思う。「黙って俺に付いてこい」「先輩の背中を見て覚えろ」も悪いことではないが、やはり上手く伝わらないことがある。しっかりと対話することにより、意思の疎通ができ、経験が少ない人にも思いが伝わる。更にこれが次世代に繋がっていく▼組合加入は1回誘えば終了ではないし、相手に理解もしてもらえないだろう。しっかりと「対話」することにより、組合がいかに必要なものかが分かってもらえるし、その中で自分が新たに発見することや再認識することもある。県立病院をこの「対話」が十分にできる職場にしていきたいと思う。

(H)

「戦争する国」はNO！ 11・22岩手県民集会

～若者を戦争に行かせない！
憲法9条をまもり、いかそう！～

11月22日(土)
岩手教育会館大ホール
集会 13:00～・デモ 15:30～

参加無料
どなたでも参加できます！

※保障あり（無料ですが、
3日前までにお申込みくだ
さい）



・講演「気づけば、戦争する国に
～秘密保護法、集団的自衛権がもたらすもの」
講師 池田香代子さん（ドイツ文学翻訳家）

主催：「戦争する国」はNO！11・22岩手県民集会実行委員会（現在75団体に参加） 共催：岩手弁護士会
事務局：岩手県労連・岩手県生協連 電話 019-684-2225



1280円
(絵7枚 A2版 59.4x42cm)

未来をになう子どもたちに
核兵器のない地球を！

いわさきちひろ
2015カレンダー(大判)

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つ
の間違い箇所（印）をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に図書
カードを送ります。送り先
は〒020-00023 盛
岡市内丸1-1、県医労「懸
賞パズル」係まで。締切は
11月末日（必着）です。ま
た、抽選には関係ありませ
んが、ハガキの余白に「つ



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何
でも)を、ぜひ一言お書き下
さい。県医労新聞で紹介す
る場合がありますので、匿
名希望の方は必ずペンネー
ムをお書きください。ただ
し、当選した場合は、記念
品の送り先が必要となりま
すので、支部名・本名の記
入をお忘れなく！

11月の予定

- 4日(火) 給食問題研究会(二戸病院)
- 6日(木) 看護部会(勤労福祉会館)
- 7日(金)～8日(土)
職制組合員集会(ホテル紫苑)
- 8日(土) 11.8秋の県民集会(県公会堂)
女性部中部ブロック集会(奥州市Zホール)
- 9日(日) 北部ブロック集会(久慈市)
- 15日(土)～16日(日)
青年部中央交流会(東京近郊)
岩手医労連壮年部集会(八幡平ハイツ)
- 20日(木) 支部長会議(水産会館)
- 22日(土) はたらく女性の岩手県集会(県公会堂)
「戦争する国」はNo! 11.22岩手県民集会(教育会館)
- 22日(土)～23日(日)
日本医労連東北地方協精神病院労組交流集会(愛真館)
- 29日(土) 女性部三陸ブロック交流集会(休暇村陸中宮古)
- 30日(日) 地域医療を守る全国交流集会(東京)

12月の予定

- 2日(火) 県医労総決起集会(勤労福祉会館5階大ホール)
- 看護部会(県民会館)
- 6日(土) 女性部南部ブロック交流集会(狛鼻溪)
- 6日(土)～7日(日)
日本医労連病院給食交流会
- 13日(土) 岩手医労連36協定・安全衛生委員会学習会
- 20日(土) 岩手県社会保障学校(アイーナ)